（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスクラップ馬込沢校			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　10日	～	2026年　3月　23日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39	（回答者数）	30
○従業者評価実施期間	2026年　3月　1日	～	2026年　3月　23日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられることで、こどもは安心感をもって通所を楽しみにしてくれていること。	・信頼関係の構築を最優先にしている ・信頼できる支援員ができたら信頼を人から場所に移行する ・特性に合わせた学習方法の提案をし、こどもの感じている負荷や苦手意識を軽減していく	・特性への知識を深めるため、支援員の研修参加の呼びかけを積極的に行っていく ・学習方法のパターンを拡大していく（ゲーム性のある学習方法などで前向きに取り組めるよう導く）
2	定期的に面談を行い、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていること。 また、日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていること。	・半年に１回のモニタリングで保護者様のニーズを再確認 ・日々の活動でこどもの希望を確認してから活動に入る ・保護者とこどものニーズを踏まえた上で、こどもの課題を組み込み、計画を立てる ・専用アプリを活用し、速やかな情報伝達ができるようにしている	・こどもの現在の状態をより細かく観察し、支援内容の変更を日々していく ・計画の内容を細かくし、どのような取り組みをしていくかを保護者様に伝えていく ・保護者様との情報共有をより細かく行う
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信していること。 個人情報の取扱いに十分に留意していること。	・３か月に一回、紙面で活動の様子や予定などを発信している ・自社のホームページのブログで、事業所での活動や児童が頑張って作った作品などを発信している ・上記を発信する際、特定されない配慮を行っている	・防災面での取り組みも積極的に発信していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	・過去に開催したが参加人数が少なく内容を検討中	・開催頻度と内容を検討している
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	・事業所外に出て、安全に活動するには、支援員の数がより必要なため	・支援員の採用活動を行っている
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会がない。	・過去に開催したが参加人数が少なく内容を検討中	・開催頻度と内容を検討している

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスクラップ馬込沢校

公表日　2026　年　3　月　24　日

利用児童数 40　　回収数 30

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	2		1	もう少しだけ広いといいかなと思います。	建物の増築・改築は困難なため、整理整頓・導線の改善を検討してみます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25			5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	5		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	28			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	5	12		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	3	11	情報提供の機会がないので答えづらい。もしあるならわかりやすく提示してほしい。	開催頻度が少ないため検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	8	13	保護者交流はあってもいいかもしれません。	開催頻度が少ないため検討していきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29		1		避難訓練はあるが防犯面の詳細を会報で知りたい。一軒家なので修理時も教えて欲しい。	防犯面に関してお知らせを追加させていただきます。修繕があった際にはお知らせいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1	1			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	28	1	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2	1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30				安心していつも楽しく通所させてもらっています。	現状を維持していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	4			楽しく行けています。	通所児童が楽しめるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				いつもありがとうございます。	引き続きご満足いただけるよう支援を行っていきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスクラップ馬込沢校

公表日　2026　年　3　月　24　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		1人1つ机と椅子があり、ついたてを挟んで配置。SSTと個別活動は部屋を分けて集中出来る環境を整えている。	前回SSTの声が学習スペースにも聞こえて来ることが課題だったが、防音設備の設置を行ったことで、以前より緩和した。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	1	基準を守って配置している。	支援員ひとりひとりがより余裕をもって子供たちと向き合えるよう、採用活動を継続。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	学習、自立活動、SST、気持ちを落ち着かせる場所で分けて、わかりやすく構造化している。	バリアフリーの設備は現状ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		必要最低限のもののみ配置し、余計な刺激がないよう配慮している。毎日の清掃、消毒、換気で衛生面を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		静養室を設け、必要に応じて使用できる環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎日職員会議を開き、話し合いをしている。また、記録を残し、全職員が内容を振り返りできるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		半年に１回評価表を活用してアンケートを行うことで、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		半年に１回評価表を活用してアンケートを行うことで、改善に繋げている。 普段から意見を言える環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		現状はないため、追々検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		月に1～２回社内全体で研修を行なっている。また、社外研修のお知らせも提示している。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		自社のホームページにて公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		契約時にアセスメントを行い、それを基に個別支援計画を作成し、支援を行っている。（個別支援計画は半年に１回更新している）	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		日々の共有会で支援員が意見を言い、児童発達支援管理責任者が意見をまとめて計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	10		事前会議や引継ぎ記録で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		毎日の活動記録や様子を記録に残して確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		支援員の意見や、保護者様の意見をまとめ、児童ひとりひとりに合わせた計画を設定し、それに合わせた支援を行っている。	児童の状態は日々変化していくので、引き続き支援内容を細かく観察し検討し続けていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		支援員全体で話し合い活動を決めている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	過去の活動内容の記録を確認して、活動が固定化しないように気を付けている。	児童に合わせてだが、活動が固定化している部分もあるため、改善策を検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		児童の気持ちを尊重した上で、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		児童の支援内容、注意点、職員の役割を毎日話し合ってからサービスを提供している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	10		支援終了後には会議を行い、記録をまとめ、その日いない職員にも共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		児童の取り組んだ課題を記録に残すことで、支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		保護者様と半年に１回面談し、計画を一緒に振り返り、継続課題と変更課題を決めている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10		節分など季節の変化に興味をもてるような創作活動や自立を支援する活動も組みこんでいる。	地域交流の機会の提供を今後は検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		プログラムの中に、自己決定して課題に取り組む時間を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		必要機関に相談をしたり、担当者会議を開くなど、連携して支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	年間計画・行事予定等の交換などは、保護者様とすることが多いが、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生時連絡）は適切に行えている。	保護者様からのご要望があれば、学校訪問等をより積極的に行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		相談員様を通して情報を引き継いでいる。	直接的な関わりは現状ないが、必要に応じて行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10	現状卒業対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		10	現状ない。	今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10	現状ない。	今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		代表者が参加し支援員に内容を共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		電話や専用アプリを通して連絡をとっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	希望する保護者様のみだが、講師の先生をお招きして、保護者会を過去に行なっている。	頻度が少ないことが課題。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		児童や保護者のニーズを基に、支援をしている。半年に一回意向を確認し、専用アプリからいつでも相談できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	10		保護者様に内容を確認いただき、了承を得て支援をしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		お電話や専用アプリを通して行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	7	過去に開催しているが、参加人数が少なく、新しい開催はまだできていない。	頻度が少ないことが課題。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		ご意見やご要望があった場合、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		３カ月に一回会報を発行している。 週に１回ブログを公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		職員専用の事務所外に情報が出ないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		不快な思いをしないよう配慮を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10	現状ない。	今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルを策定し保護者様がいらしたときにいつでも見れる玄関に配置。支援員には、定期的に研修や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPを策定し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		基本食べ物を扱っていないが、ご褒美のお菓子は、保護者様に確認して食べるよう促している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		計画を策定し、定期的に研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10		契約時に確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		事例があった場合は、内容を控え、支援員全員に共有し、再発防止のために動いている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		1年に２回研修を確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		契約時に確認している。	